

# 1. 調査報告概要表

作成日 平成20年7月5日

## 【評価実施概要】

事業所番号	1090500016
法人名	三菱電機ライフサービス(株)群馬支店
事業所名	尾島ケアハートガーデン グループホーム さるびあⅡ
所在地	群馬県太田市尾島町270-1 (電話) 0276-52-5032

評価機関名	サービス評価センターはあとらんど
所在地	群馬県前橋市大友町2-29-5
訪問調査日	平成20年6月30日

## 【情報提供票より】(20年6月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 18 年 5 月 11 日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 9 人
職員数	9 人 常勤 8人, 非常勤 1人, 常勤換算 7.9人

### (2) 建物概要

建物構造	軽量鉄骨 造り
	1階建ての 階 ~ 1階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	50,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有( 円) 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 100,000 円) 無	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	230 円	昼食	320 円
	夕食	530 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 円			

### (4) 利用者の概要 (6月1日現在)

利用者人数	9名	男性	4名	女性	5名
要介護1	2名	要介護2	1名		
要介護3	2名	要介護4	4名		
要介護5	1名	要支援2	0名		
年齢	平均 85.7歳	最低	76歳	最高	93歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	太田総合病院 堀江病院 横室医院 飯塚歯科医院
---------	-------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

施設長、職員一同は連携を密にしながら、利用者の立場になって考えてケアの質の向上を前向きに取り組んでいる。職員研修の充実を図り、法人内研修や外部研修等の機会を多く設けて参加するようしており、職員自身が研修内容を日々のケア実践に活かすよう努力しながら取り組んでいる。地域との交流の機会が持てるように事業所から積極的に地域に働きかけ、利用者がメリハリのある生活が送れるような支援に取り組んでいる。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>重度化や終末期に対する事業所としての指針を作成をしている。介護計画書は家族の意見や要望を聴き、計画書の内容の確認をしながら作成をしている。サービス評価の意義や目的を伝え、職員全員が評価項目ごとの学習会を昨年7月より月次会議で取り組んでいる。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>サービス評価の意義や目的を全職員に伝え、項目に沿った勉強会を昨年7月から取り組んできており、自己評価は全員で行なった。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>定期的開催をしており、事業所から利用者の状況、行事等の報告を行っている。医療加算体制、地域のいきいきサロン(地域事業協賛)、利用者の離棟予防には尾島町交番との連携等についての説明を行い、参加者から意見や要望を聴いている。居室の暑さ対策の工夫等のアイデアを頂き運営に反映させている。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>運営推進会議に参加してもらい意見や要望を聴いている。家族等の来訪時には話しやすい雰囲気作りに配慮している。家族からの意見や要望を話し合い、対応策を検討し、実践で取り組むようにしている。意見箱の設置もしてある。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>散歩時に挨拶や話をする、近隣者から野菜や花を頂く、利用者の友人が立ち寄る、地域の祭り、ボランティアの受け入れ等の地域との交流が行なわれている。地域の新年会には施設長が参加し、いきいきサロンにホームを提供し、利用者や地域の方との楽しい交流の場としている。</p>

## 2. 調査報告書

(   部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスとしての理念の見直しを行い、地域の中で「生きる喜び、生活する楽しみ」の芽生えを求めようと付け加え、地域との関係性を重視した理念を掲げている。目に付きやすい所に理念の掲示もしている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	施設長と職員は会議等で日々の振り返りを行なう時は理念に触れ、話し合い、共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	散歩時に挨拶や話しをする、近隣者から野菜や花が届く、利用者の友人が立ち寄る、地域の祭り、ボランティア(合唱、お茶会、フラダンス等)を受け入れ交流を図っている。地域の新年会に施設長が参加し、いきいきサロンに会場を提供し、利用者地域の方が楽しく交流している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス評価の意義や目的を伝え、評価項目について昨年の7月から月次会議に於いて学習会を進めてきており、職員全員で自己評価に取り組んでいる。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に関催をしており、事業所から利用者の状況、行事等の報告を行っている。医療加算体制、地域のいきいきサロン(地域事業協賛)、利用者の離棟予防のための尾島町交番との連携等について説明を行い、参加者から意見や要望を聴いている。居室の暑さ対策の工夫(緑のカーテン等)の意見等を運営に反映をさせている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市担当窓口や関係する課には、事業所から積極的に訪問し連携を図っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	家族等の来訪時に暮らしぶりや健康状態等の報告をしており、また、電話等でもしている。ホーム便り(2ヶ月に1度)を発行し全体の暮らしぶりや行事等の報告をしている。。金銭管理についても定期的に報告をしている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議には家族に参加してもらい意見や要望を聴いている。家族等の来訪時には話しやすい雰囲気づくりに配慮している。家族からの意見や要望は話し合い対応策を検討し実践に取り組むようにしている。意見箱の設置等もしてある。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の定着化を図り、利用者へのダメージを最小限にするように努めている。月次会議で何でも話し合える雰囲気づくりに配慮し、職員間で十分に話し合うようにしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員基礎教育の充実を図るために、社内研修、外部研修に積極的に参加をさせている。ケア学会、認知症基礎研修、認知症アカデミー、緩和ケア、施設長研修、ケアの基本のスキルアップ研修を受講している。また資格獲得への支援や同敷地内の事業所との交換研修も実施している。職員全員が介護の視点を共有できるように会議等で報告をしている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域密着型サービス連絡協議会に加入し、他の事業所との交流を図り情報交換や研修等で交流や連携が図られている。東毛地区の研修に参加したり情報交換等をしている。近隣の事業所とは相互訪問等も行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人や家族に見学をしてもらい、お茶を飲みながらホームの雰囲気を覚えてもらったり、体験入居し馴染んでもらえるようにしている。病院や施設に職員が出向き顔馴染みになるようにしている。入居後は家族の協力を得てホームに宿泊してもらったり、対応や言葉かけの統一を図ったりしながら、ホームの環境に馴染めるように配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者は人生の先輩であるという考えを職員が共有しており、生活の場面で漬物づけ、糸むすび、方言、昔の言葉等教わることも多い。共に過ごし支えあう関係を築いている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	アンケートを取ることや日々のかかわりの中で、一人ひとりの言葉や表情、行動等から本人の思いや希望を把握するように努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人や家族からは日頃のかかわりの中で思いや意見を聴き、介護計画に反映させるようにしている。月1回モニタリングを行い、職員全員で気づきやアイデアを話し合い、介護計画に反映させるようにしている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	随時、状態の変化に応じて見直しを行っている。定期的見直しについては、3ヶ月に1度実施している。職員間で話し合い、本人や家族等に説明し確認しながら現状に即した新たな計画を作成している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族等の希望や状況に応じて、通院、送迎、買い物、美容院等必要な支援は柔軟に対応している。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時、本人や家族等の意向を確認し、希望するかかりつけ医で適切な医療が受けられるように支援している。受診時は日頃の様子を記載したバイタルチェック表や連絡帳を用いて医師との連携を密にしており、助言等が得られている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化に対する対応指針を定め、家族に説明をし書類を渡しており、職員にも説明され関係者で理解をしている。状態に応じ、家族、医師、訪問看護師、事業所等で話し合いを行いながら納得のいく支援をしている。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねない対応を職員は共通認識として持ち、言葉かけや対応に留意している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床や就寝時間、入浴、食事、散歩、ドライブ等、一人ひとりの体調に配慮しながら、その日、その時の本人の気持ちを確認して支援をするようにしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜のつる取り、皮むき、盛り付け等、職員と一緒に行うようにしている。生活の楽しみの中で食事は大切と考え、職員と利用者が同じテーブルを囲んで、楽しく食事ができるよう支援をしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	職員が一方向的に決めず、利用者のその日の希望やタイミングに合わせて入ってもらっている。入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫を行い、一人ひとりに合わせて入浴支援をするようにしている。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	家庭菜園、草むしり、花の手入れ、野菜の皮むき、掃除、お盆を拭く、友人の訪問、ボランティアとの交流、買い物、散歩、花見、ドライブ、展示会、家族に手紙を書く、図書館に行く等で役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気や本人の気分や希望に応じて、季節を肌で感じてもらえるよう、散歩、公園、ドライブ、花見や庭でお茶をする等で戸外に出る機会を支援している。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員が見守りを行ないながら、安全面に配慮して玄関に鍵をかけずに、自由な暮らしを支援している。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力を得て、年2回避難訓練、消火訓練を利用者と一緒に行っている。近隣者には協力依頼を行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立は栄養士が作成しており、食事量や栄養バランスは記録している。水分量については、少ない摂取時の利用者がいた場合に記録し、職員は情報を共有するようにしている。	○	利用者全員の日全体を通じた食事量、栄養バランス、水分量の摂取状況を毎日チェック表に記録し、職員が情報を共有されることが望ましい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関先に鉢植え、玄関ホールや廊下には懐かしい町並みの絵画が掛けられている。ホールにはソファ、畳コーナーがあり、ご飯の炊ける匂いや食事作りの様子、窓越しに家庭菜園が見られるなどの環境で居心地の良さがある。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室にはテレビ、衣装箱、ベッド、寝具、テーブルと椅子、家族写真、ぬいぐるみ、自分が描いた絵等が持ち込まれており、本人が安心して過ごせる場所となっているように見受けられた。		